

公表

## 事業所における自己評価総括表

○事業所名	旭川市愛育センター（児童発達支援事業）		
○保護者評価実施期間	令和7年1月15日		～ 令和7年2月10日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	160	(回答者数) 92
○従業者評価実施期間	令和7年1月15日		～ 令和7年2月3日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	66	(回答者数) 54
○事業者向け自己評価表作成日	令和7年3月12日		

## ○分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	・保育士を中心として多職種で連携した支援が展開できている。	・職員間での支援の開始前と終了後に打ち合わせを行い、日々支援内容について検討している。 ・月1回担当者が集まり担当者会議を行い、情報を共有している。	・今後も継続していく。
2	・手厚い支援ができています。支援員の効率的な運用は今後も課題としてあげられる。	・クラスの状態や、子どもの様子に合わせて職員配置を変えている。	・クラスの状態、子どもの様子などに合わせて、職員が今以上に柔軟に対応できるよう検討していく。
3			

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	・施設の老朽化による生活環境への不便さを改善したい。	・園庭やトイレ等、設備の老朽化。 ・ブレイルームや一部の指導室のエアコン未設置。	・令和7年度から園庭の改修工事を行う。 ・令和6年度中に指導室のエアコン設置。令和7年度中にブレイルームにエアコンを設置する予定。
2	・各種マニュアルの周知が不十分である。	・廊下等に掲示はしているが、マニュアル等に基づく研修や訓練を行っていることを周知できていない。	・愛育センターのHPに各種マニュアルを掲載し周知を図り、マニュアルに基づいたセンターの取組を紹介する。
3			